



## 社会参加委員会便りNo. 10

名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会  
社会参加委員会  
(名古屋市中区栄1-23-13 鯨城学園内)

今年度のボランティア活動が順次実施され、その報告とクラス・クラブでの自主的な独自ボランティア活動の様子も投稿して頂き、掲載しました。

### ◇クリーンキャンペーンに参加して

29期文化A 水谷佳子

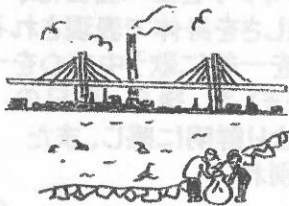
10月3日恒例の鶴舞公園内清掃を鯨城会主催で、学生会から1年生、2年生計136名参加して盛大に実施しました。市内16区の鯨城会の皆さんが、のぼり旗を持って一同に集合した景観とパワーに感動を覚えるとともに、その一員として今後も活動出来ることが、誇りに思いました。公園内の清掃は、行き届いているように見えたが、目が届かない奥の樹木やベンチの下付近にはペットボトルや食べ屑のビニール袋などが捨てられており、公園内美化を保っていくには、利用者一人一人に一層の協力を呼びかける立て看板など、広く周知をはかることも必要かと思いました。また今回は鯨城学園創設30周年の記念を祝してヤブツバキの植樹祭と重なり多くのOBの方々とは話が出来たことを大変有意義に思いました。



### ◇藤前干潟クリーン大作戦のあれこれ

29期文化A 奥地昭彦

今年の藤前干潟クリーン大作戦は、5月16日(土)に予定されたが、雨天で中止、29・30期生を対象に10月24日(土)に再挑戦することになり、秋晴れの絶好の行事日和でした。この行事は、実行委員会を中心にNPO藤前干潟を守る会と同調する愛知・三重・岐阜3県の関係団体・民間企業・子ども会等老若男女数百人が参加する一大イベントです。定時に29期生64名、30期生105名合わせて169名が現地に集合、現場に急ぐ。現場では、持ち時間1時間半の間に少しでもゴミを集めようと真剣です。今年は事前の打合せで小さなビニール袋を持参したので要領よくゴミを集めることが出来ました。更に小さなプラスチック片が渡り鳥達に悪さをすると事前情報でそれらも集めました。11時半に作業終了。私達は4人で近くのイオンモール茶屋店で食事。八事の次に新設された名古屋市立第2斎場と八事興正寺の新設予定現場を外観し、地下鉄築地口で解散しました。



### ◇鯨城・堀川清掃大作戦に参加して

29期生活A 馬場良祐

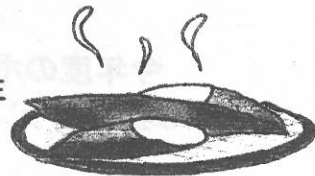
堀川上流(元杵樋門)から下流(港新橋)までと新堀川堀留から宮の渡し公園まで全長31キロメートルを11拠点に分割しオール鯨城総勢約900名(学生会430名)の方が清掃活動に汗を流しました。我クラス18名は第九拠点の港新橋から左岸の上流約2キロが担当区域に当たり早速下見に出かけました。地下鉄築地口駅から20分程かかり危険と思われる箇所もあり、名城線伝馬町駅から市バスで竜宮町下車、徒歩で約5分、このルートなら皆にも負担をかけずに清掃活動ができると確信しました。当日は天候に恵まれて大量のごみ(たばこの吸い殻、菓子の包装紙、ペットボトル等)を回収、無事に終えることが出来ホッとすると同時に港に一番近い所で堀川の汚れが海の汚れになることを感じ学ぶことができ、この活動が継続して行われることを願わずにはいませんでした。



## ◇園芸専攻ボランティアの取り組み

29期園芸 宮竹かの子

28期が起ち上げた野菜ボランティア活動を引き継ぎ、私達の農園で収穫した野菜の一部を市内の児童養護施設11箇所へ、春はタマネギ、秋にはサツマイモを届けました。一方で昨年野菜を届けた時に養護施設の方から「ぜひ子供たちに芋ほり体験をさせたい」と要望がありました。子供に事故があったら大変と最初は尻込みしましたが、クラスの協力で子供達の誘導班・農園の飾り付け班・焼き芋係班・道路案内班に分かれ、10月17日(土)東区の養護施設の幼児、小中学生20名と引率者5名を招待しました。天候に恵まれ嬉しそうなお子たちの笑い声に囲まれた楽しいひと時を過ごせ、芋ほりの後は参加者全員で美味しく焼き芋を頂きました。今回の活動は30期生への継続の話が進んでいます。小さな活動が社会貢献につながり、クラスの纏まりにも役に立ったと感じました。



## ◇ボランティア

29期福祉B 宮崎ちづ子

高年大学で多くの仲間と一緒に元気に楽しく過ごせば、一人では出来ないことも実現すると思えました。フラダンスクラブの方からの声かけでフラダンスと手話コーラスと民謡のコラボレーションができたことを感謝しています。出会えた手話コーラスでは皆さんと一緒に手話を覚える楽しさ、歌う楽しさが味わえますし、手話を楽しく覚えるにはとっても良い方法です。耳が遠くなった時、人から大きな声で何度も言われると怒られていると思う方が多いそうです。そんな時にジェスチャーに近い簡単な方法でコミュニケーションがとれたら楽しい時間を共に過ごせる気がします。又、創作フラダンスでのボランティアはお年寄りだけではなく踊っている

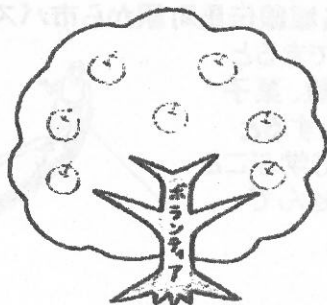


私達も歌いながら楽しむことができます。最近のボランティアでは一緒に歌って下さいと声を掛けたつもりが一緒に踊って下さいと聞こえたらしく、介護の職員さん達と一緒に踊って下さいました。福祉学科での実習授業を参考に仲間と共に自分達も楽しいと思える事をあれこれ考えながら笑顔をお届けしたいと思っています。これが私のボランティアです。

## ◇施設ボランティアに参加して

29期文化B 北村智子

私は歌が好きでフォークソングクラブに入り、クラブを通して皆さんと歌うことの楽しさをより知り得ました。そんな中、クラスメートから天白区の介護施設「オーネスト希望」でのボランティアを受け、有志で10月の秋祭りに参加することになりました。ボランティアデビュー当日は、ドキドキのスタートでしたが歌い始めたら大きな声と笑顔で一杯。楽しさを身体で表現される皆さんと大合唱できたことが本当に嬉しかったです。フォークソングと一緒に歌う中で心をつなげるの繋がりがもてたことで、歌い合う喜びを実感することが出来ました。後日、当日のビデオを見せて頂きましたが、皆さんが楽しく参加されていたことをより鮮明に感じ、またボランティア活動への思いがより強くなりました。施設の皆さんとお別れする時に「またお会いしましょう」と約束したことも忘れません。歌は、フォークソングは、人と人の心を繋ぐことと、歌い合うことの素晴らしさを心に、これからも仲間たちとボランティアの輪を育んでいきたいと思えます。施設の皆さんとお会いできたこと、巡り会えたことに心から感謝します。



### 読者の皆さんへのお願い

3学期も終わりが近づいてきましたが、次回次年度以降の「鯉城」に記載できるようなボランティア活動がありましたら一報ください。

～今後の全学対象ボランティア活動の予定～  
3月13日(日)名古屋ウィメンズマラソン2016